

Combi

コンビ チャイルドシート THE Sシリーズ

取扱説明書 [品質保証書付]

お子さまの安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 本書はベースカバラーの収納ポケットに保管してください。
- 品質保証書に、必要事項をご記入ください。

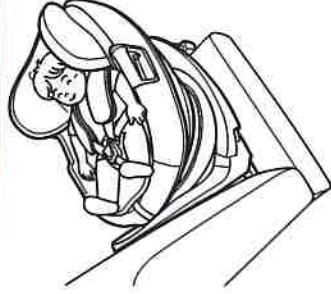
本製品は、UN R129/03において認可された特定車両ISOFIXチャイルドシートです。

- ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。
- ただし、ISOFIX取付金具(バー)を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。ご使用の際は、必ず車種適合および車両の取扱説明書を確認ください。

- お子さまの条件：身長105cmまたは、体重19.0kgまで

ご使用の向き		お子さまの条件
後向き	身長：40cm ～ 105cm まで	
前向き	身長：76cm から月齢15カ月以上～ 105cm まで	

※体重19.0kgを超えるお子さまには使用できません。



お使いいただく前に

各部の使いかた

車への取り付け・
取りはずし

お手入れ・その他

△危険

お子さまの月齢が15か月、かつ身長が76cmを超えるまでは、前向きで使用しないでください。

△注意

お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。

もくじ

お使いいただく前に

お使いいただく前に	
お使いいただく前に.....	2
各部のなまえ.....	3
ご使用の条件.....	7
取り付けできる座席.....	10
取り付けできない座席.....	11
安全にお使いいただくために.....	12
各部の使いかた	
リクライニングのしかた.....	18
回転のしかた.....	19
シートの取りはずし、取り付けのしかた.....	20
お子さまを乗せたシートの持ち運びかた.....	24
幼児肩ベルト位置の調節のしかた.....	25
お子さまの座らせかた.....	27
お子さまの降ろしかた.....	30

車への取り付け・取りはずし	
取り付け準備.....	31
車への取り付けかた.....	33
取り付け完了チェックのしかた.....	36
車からの取りはずしかた.....	37
お手入れ・その他	
インナークッションの使いかた.....	39
幌の使いかた.....	41
カバーの取りはずしかた・取り付けかた.....	44
お手入れのしかた.....	47
保管・廃棄のしかた.....	48
品質保証書.....	49
問い合わせ先.....	裏表紙

お使いいただく前に

このたびは、コンビチャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

〈中古品のご使用について〉

- ・使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ・ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

お使いいただく前に

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

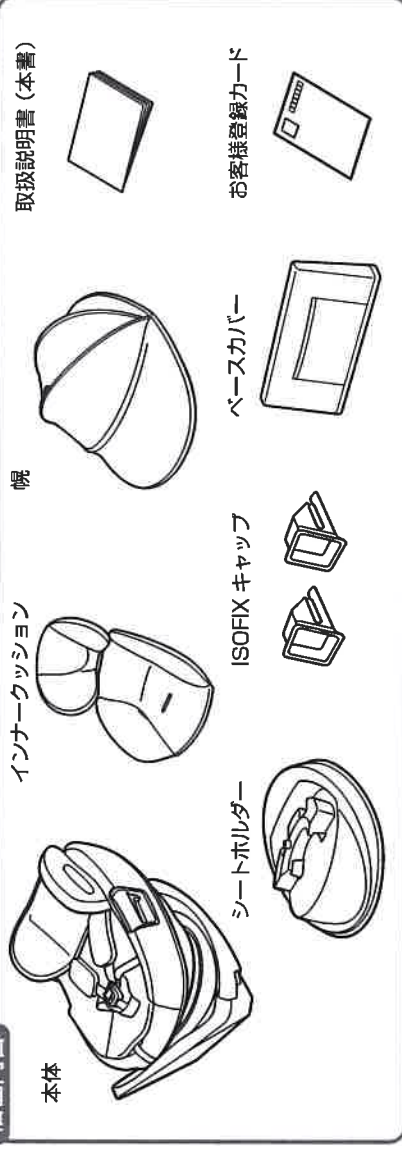
●ご使用前に、「品質保証書」に次の項目を記入してください。

- ①製品名とロットNo.(ヘッドガード裏側(6ページ参照)に貼ってあるシールに記載されています)
- ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③販売店名

●レシート(領収書)を本書といっしょに保管してください。

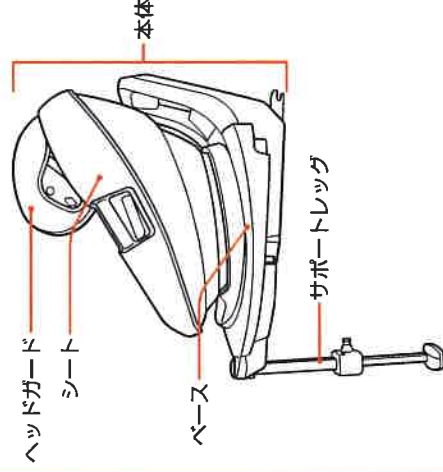
※ 本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため実際の製品とは異なる場合があります。
またカバー・インナークッション・幌は製品仕様により、形状が異なる場合があります。

梱包内容



お使いいただく前に

本書で使われる「本体」「シート」「ヘッドガード」「ベース」「サポートレッグ」とは、下記の部位をいいます。



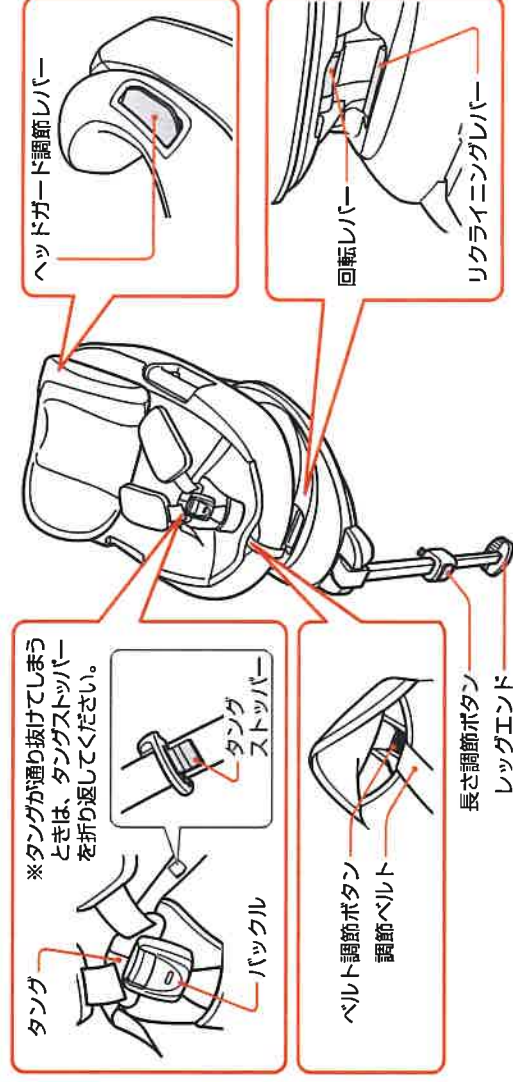
お使いいただく前に

つづく ➡

各部のなまえ

お使いいただく前に

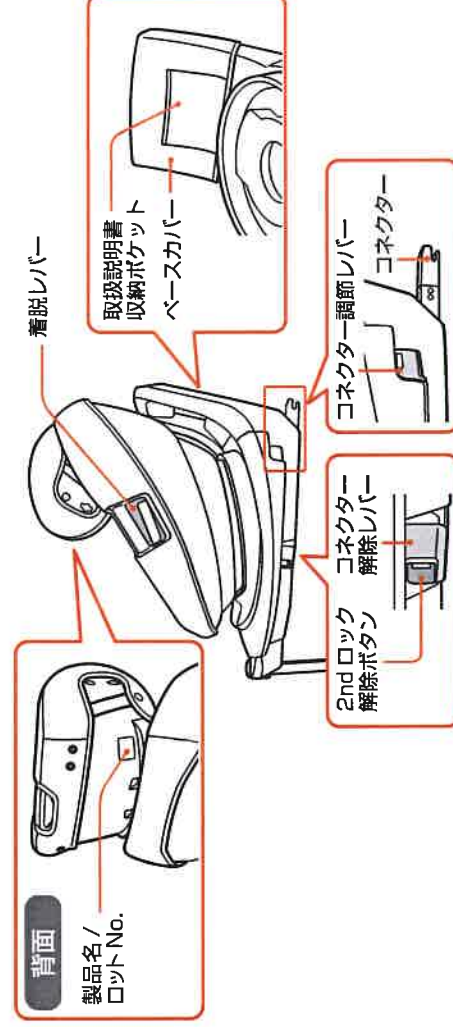
正面



5

お使いいただく前に

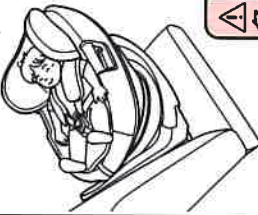
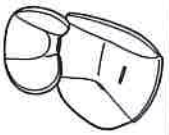
側面



6

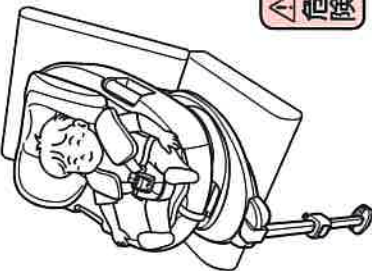
ご使用の条件

ここでは、お子さまの身長によるシートの向き、インナークッションの使用条件などを説明しています。

後向き（進行方向に対して後向きに取り付け）	
お子さまの条件	インナークッションの使用条件
身長 40cm → 身長 105cm まで または体重 19.0kg まで	使用する 身長 40cm ~ 65cm 未満
 危険 お子さまの月齢が15か月、かつ身長が76cmを超えるまでは、前向きで使用しないでください。 お子さまの足が車両背もたれにあたるなど、後向きでの使用が体格に合わないと感じた場合は、前向きで使用してください。	 お子さまの体格や成長にあわせ、ベルトが窮屈に感じたときは、使用をやめる
	使用しない 身長 65cm ~ 76cm 未満
	身長 76cm 以上
	幼児肩ベルトの位置について 幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置で使用するください。 
	警告 必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。 

お使いいただく前に

つづく →

前向き（進行方向に対して前向きに取り付け）	
お子さまの条件	インナークッションの使用条件
月齢 15 か月 かつ身長 76cm 以上 身長 105cm または体重 19.0kg まで  危険 お子さまの月齢が15か月、かつ身長が76cmを超えるまでは、前向きで使用しないでください。	使用禁止
	幼児肩ベルトの位置について 幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置で使用するください。 

ご使用の条件

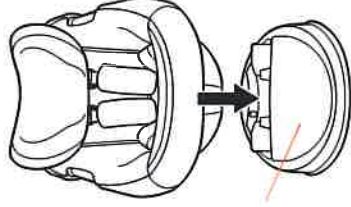
ここでは、お子さまの体重による持ち運び・シートホルダーの使用条件などを説明しています。

シートホルダーへの取り付け お子さまの条件

使用可能：体重 9.0kg 未満まで
使用禁止：体重 9.0kg 以上
※目安となる月齢：12 か月です

警告
持ち運びが困難だと感じた場合や、
お子さまの体格に合わないと感じた
場合は、使用しないでください。

- シートをシートホルダーに正しい向きで取り付け、しっかり固定されていることを確認してください。
- インナークッションの使用条件については、7 ページを参照してください。
- 取り付けの向きについては、シートホルダーのステッカーを参照してください。



シートホルダー

取り付けできる座席

ISOFIX 型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。

ただし、ISOFIX 取付金具（バー）を装備した全ての車両に取り付けられるものではありません。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記の ISOFIX サイズクラスに適合しているか確認してください。

車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。
www.combi.co.jp/childseat/seat_search/



コンビ 適合 検索

本製品の ISOFIX サイズクラス

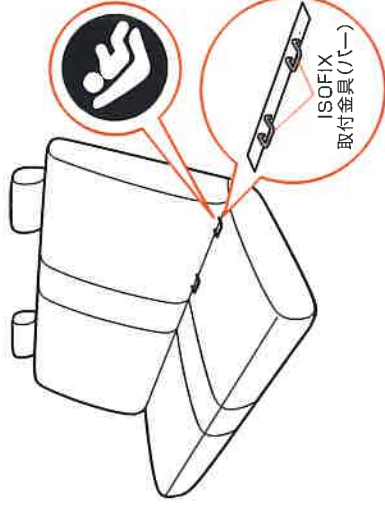
チャイルドシートの向き	固定具
後向き	R2、R3
前向き	F3 ※

※後向きでヘッドガードの位置を高くしたときに、前座席にあたる場合があります。その場合は、前座席の位置を調整してください。

※前向きでリクライニングを 1 番立てた状態以外で使用するときは、全ての車両に取り付けられるものではありません。

ISOFIX 取付金具について

ISOFIX 取付金具とは、ISOFIX チャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座席の間に装備された金具（バー）です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。



取り付けできない座席

次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかり固定できない場合には使用しないでください。

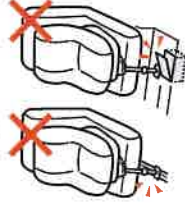
- ISOFIX 取付金具 (バー) が装備されていない座席。



- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



- サポートレグの先端部に座席のスライドレールや床下収納スペースなどがある座席。



- フロントエアバッグ装備の座席。
... サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- 座面の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



- 床に対して座面が低い座席または高い座席、床の形状などにより、サポートレグを正しく接地できない座席。



安全にお使いいただくために

つづく →

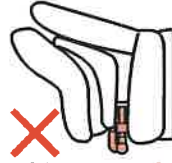
⚠ 危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です

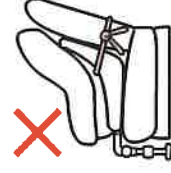
- 使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。



- サポートレグを収納状態のまま、取り付けないでください。必ずサポートレグを出して、長さを調節してください。



- 本製品は車両シートベルトで固定することではできません。



安全にお使いいただくために

お使いいただく前に

⚠ 危険

- お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰、正座をしないように注意してください。
- チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニングや回転の操作ができない、またはロックできない場合があります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、取りはずせない場合は他の座席に取り付けてください。



⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



つづく →

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です

- 初めベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しが強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。



● バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合、または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、当社のコンピューターブラザーへお問い合わせください。



● 調節ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンピューターブラザーへお問い合わせください。



● 調節ベルトがシートカバーに固定されていない状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



お使いいただく前に

安全にお使いいただくために

お使いいただく前に

⚠ 警告

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ずコネクターで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなる場合があります。



- 緊急時に同乗者の脱出のさまたげになる座席には、チャイルドシートを取り付けしないでください。



つづく ➡

⚠ 注意

(誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です)

- チャイルドシートを車両のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。
- 直射日光があたると、本体や差込タンクなどが熱くなり、お子さまがヤケドをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 固定されていない物を車内に置く場合は、急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。
- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。



- チャイルドシートを通常のいすとして使用すると、転倒してケガをすおそれがあります。本書に記載されていない使用法はしないでください。



- シートカバーなどの座墊品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 拘束や調節操作をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。



- 座席の表皮素材（革など）や形状によっては、座席に傷や変形がつくおそれがあります。



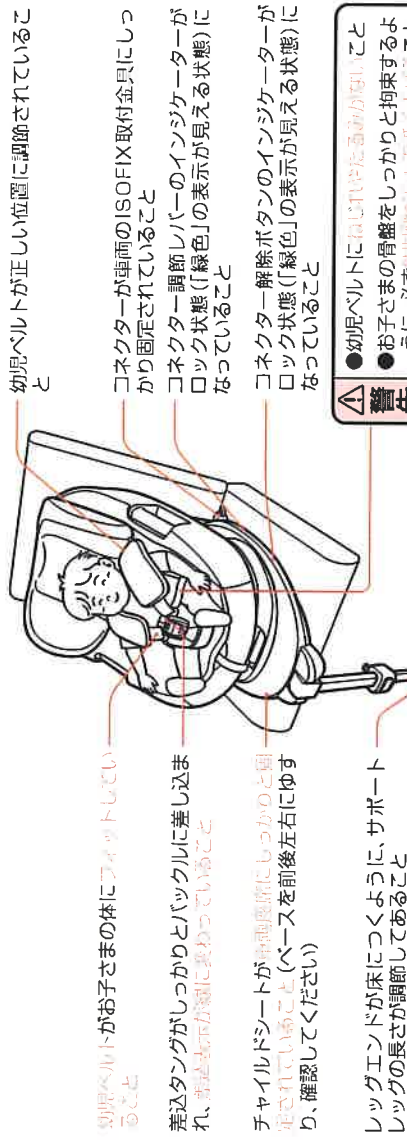
お使いいただく前に

安全にお使いいただくために

お使いいただく前に

⚠ 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。



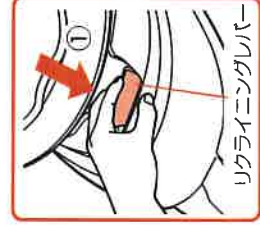
※イラストは前向き使用例

- ⚠ 警告**
- 幼児ベルトにねじりやたるみがないこと
 - お子さまの肩盤をしっかりと拘束するよう、必ず幼児ベルトを正しく着用すること

リクライニングのしかた

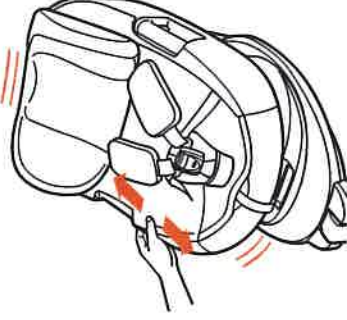
お子さまの様子にあわせて、5段階に角度を調節することができます。

- 1**
- ① リクライニングレバーを手前に引きながら、
 - ② シートのリクライニング角度を調節する。（前向き/後向きとも5段階）



- ⚠ 注意**
- リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
 - ココミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

- 2**
- リクライニングレバーから手を離してシートを前後にゆすり、ロックされていることを確認する。



- ⚠ 警告**
- 操作後、リクライニングレバーが「カチッ」と音が生じ、元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）

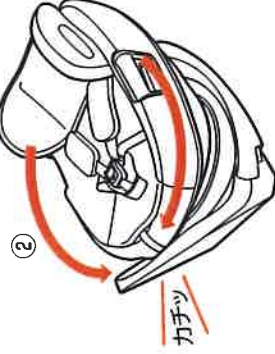
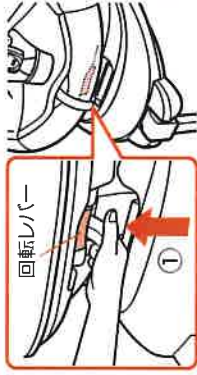
各部の使いかた

回転のしかた

お子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転させることができます。

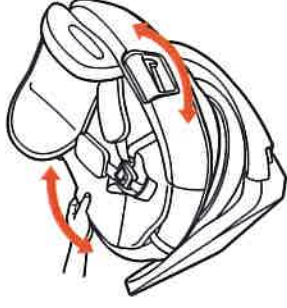
1

- ① 回転レバーを押しながら、シートをまわし、
- ② 動き始めたら回転レバーから手を離し、「カチッ」と音がしてロックするまで、シートを「後向き」または「前向き」にまわす。



2

シートを左右にゆすり、ロックされていることを確認する。
※構造上シートに遊びがあり、カタカタと音がしますが、問題なく使用できます。



各部の使いかた

72827

後向きで回転レバーに指が届きづらいたときは、リクライニングを1番立てた状態にすると届きやすくなります。

危険

- シートを横向きにしたまま走行しないでください。本来の機能を果たさず危険です。
- 走行中は回転操作をしないでください。

注意

- 回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
- コミや放食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

警告

操作後、回転レバーが「カチッ」と音がして、元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

シートの取りはずし、取り付けのしかた

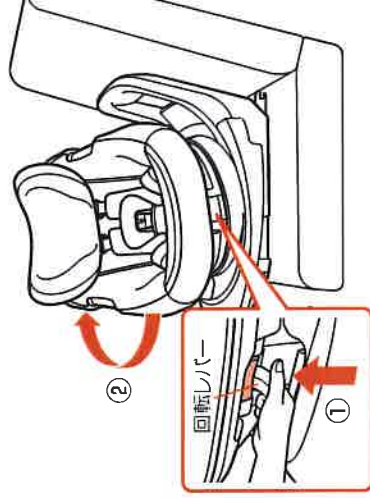
車両への取り付けをしやすいするため、シートを取りはずすことができます

ベースから取りはずす

1

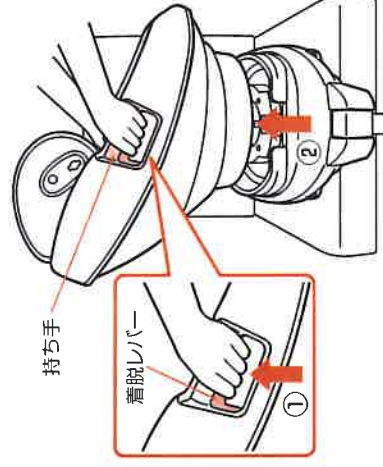
- ① 回転レバーを押しながら、
- ② シートをベースに対し90°まわす。

(「回転のしかた」参照)



- ① 左右両側の持ち手にある着脱レバーを握りながら、
- ② シートを持ち上げる。

※ 片側だけの操作ではシートは持ち上がりません。

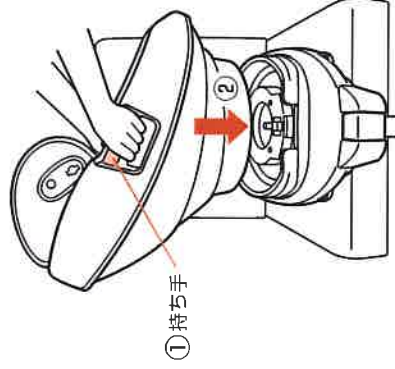


各部の使いかた

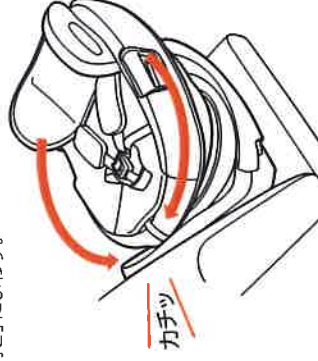
シートの取りはずし、取り付けのしかた

ベースに取り付ける

- 1 ① シートがベースに対し、90°になるように持ち、
② シート底面をベースの円形状に合わせて置く。



- 2 「カチッ」と音がしてロックするまで、シートを「後向き」または「前向き」にまわす。



- ⚠ 注意**
- 取りはずし、取り付け操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
 - ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

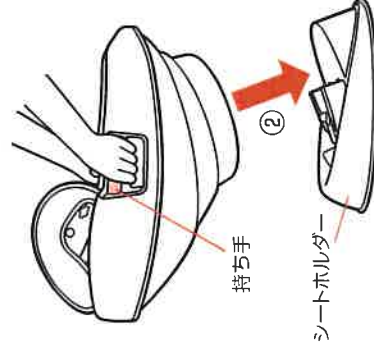
各部の使いかた

つづく ➡

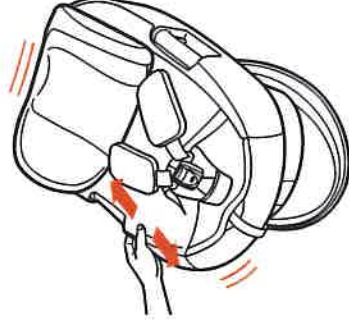
シートをシートホルダーに取り付けることによって、室内でもお子さまを乗せて使用することができます。

シートホルダーに取り付ける

- 1 ① シートホルダーの向きが正しいことを確認し、
② シート底面をシートホルダーの円形状に合わせて置く。



- 2 シートをゆずってもガタつきがなく、固定されていることを確認する。



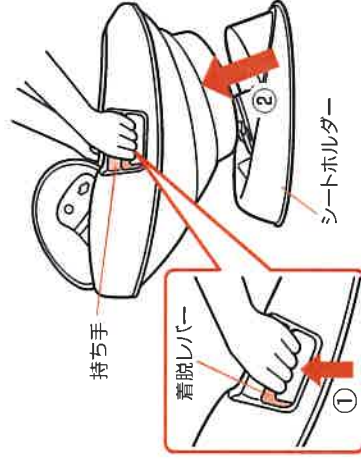
各部の使いかた

シートの取りはずし、取り付けのしかた

シートホルダーから取りはずす

- 1 ① 左右両側の持ち手にある着脱レバーを握りながら、
② シートを持ち上げる。

※ 片側だけの操作ではシートは持ち上がりません。



危険

- お子さまを座らせる目的以外（踏み台や遊具など）でシートホルダーを使用しないでください。
- 室内でお子さまを乗せる場合は、必ず保護者の目の届く範囲で使用し、シートの座面には立たないでください。

警告

- お子さまを乗せたままシートホルダーを動かしたり、床を引きずって移動させないでください。
- このシートホルダーはベッドとして代用できるものではありません。お子さまに睡眠が必要な場合には、適切な場所に寝かせてください。
- シートホルダーに寝せるときも必ず幼児ベルトを使用し、お子さまと幼児ベルトの間に大人の手のひらが入る程度に調節してください。
- シートホルダーは床置き専用です。持ち運びの際は持ち手を握りシートホルダーをはずしてから、シートのみを持ってください。
- テーブルの上などの高い場所や、大人用いすの上で使用しないでください。
- 持ち運び・室内での使用の際は、必ず調節ベルトをたんでベルト調節口にしまい込んでください。

注意

室内で使用する際は、1時間程度を目安にお使いください。

お子さまを乗せたシートの持ち運びかた

シートを持ち運ぶ

- 1 ベースまたはシートホルダーからシートを取りはずす。
（「シートの取りはずし、取り付けのしかた」参照）

危険

お子さまを乗せたシートを持つときは、必ず両手でそれぞれの着脱レバーを握ってください。

警告

- 持ち運びのお子さまの使用条件は9.0kg未満ですが、その体重に満たない場合でも、持ち運びが困難だと感じた場合やお子さまの体相に合わないと感じた場合は、お子さまを真せて持ち運びしないでください。
- 障害物への対応で一時的にシートを直置きする場合は、ぬかみや砂利などシートの底面が汚れるような場所へ置くことは避け、平らで安定した地面に置くようにしてください。
- 階段や段差のある場所では、足元に十分注意してください。

- 2 シートを持ち運ぶ。



幼児肩ベルト位置の調節のしかた

お子さまの成長にあわせ、幼児肩ベルトの位置を変えて使用します。幼児肩ベルトの位置は、8段階に調節することができます。

幼児肩ベルト位置の目安

●後向き使用時

幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置で使用してください。



●前向き使用時

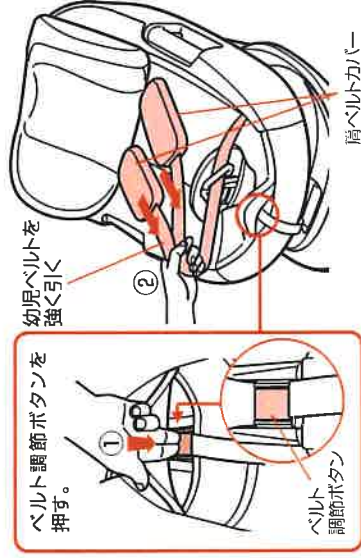
幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置で使用してください。



各部の使いかた

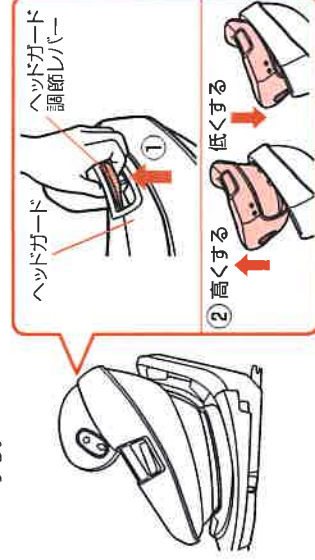
1

- ① ベルト調節ボタン(奥側)を押しながら、
 - ② 左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
- ※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



2

- ① ヘッドガード調節レバーを引き起こしながら、高さを調節する。
- ② 適切な位置でヘッドガード調節レバーから手を離し、
- ③ ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。



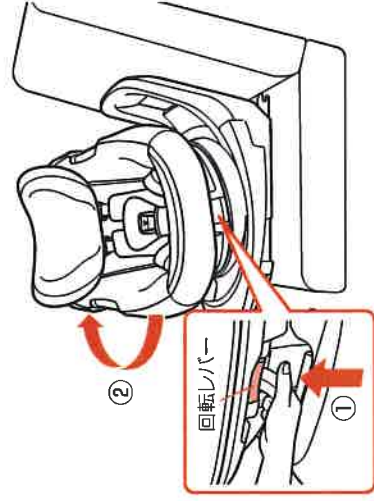
警告
幼児肩ベルト位置を調節すると、幼児ベルトが締まった
り、ゆるんだりします。
お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、幼児肩ベルト位置
を調節しないでください。

各部の使いかた

お子さまの座らせかた

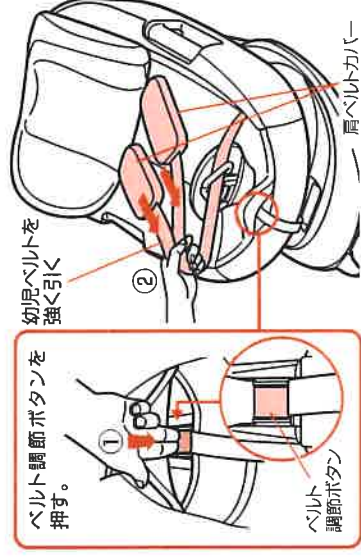
1

- お子さまを乗せやすくするため、
① 回転レバーを押し上げながら、
② シート正面をドア側にまわす。



2

- ① ベルト調節ボタン(奥側)を押しながら、
② 左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。

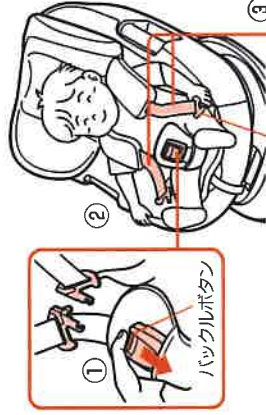


各部の使いかた

27

3

- ① バックルボタンを押し、タングをはすず。
② お子さまを深く座らせ、腕を左右の幼児ベルトに通す。
③ 左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。



タング
左右の幼児ベルトが
ねじれていないこと

- ② インナークッション使用の場合には、インナークッションにあわせて
お子さまを深く座らせてください。

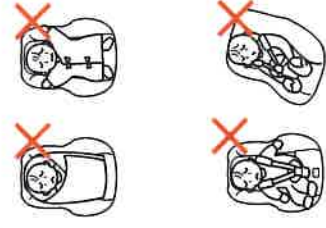


各部の使いかた

つづく ➡

- お子さまを乗せるときは、厚手の上着は脱がせてください。しっかりと拘束できない場合があります。
- おくるみなど、両足が分かれやすい衣類の着用はおやめください。
- お子さまをタオルなどでおくるんだまま、座らせないでください。
- お子さまを座らせるときには、右図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

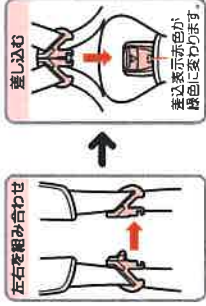
警告



28

お子さまの座らせかた

- 4 ① 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまで、バックルに差し込む。
② バックルのインジケーターが緑色に変わっていることを確認する。



危険

- チャイルドシートに差し込むタングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。
- タングをバックルに差し込んでインジケーターが緑色に変わらないうちは、使用しないでください。

- バックルのボタンは、お子さまの力でははすれないように固くしてあります。
- 左右のタングを組み合わせないと、バックルに差し込みません。

- 5 ① 幼児腰ベルトは、骨盤をしっかりと拘束するように、低く下げる。
② 幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
③ 調節ベルトを手前に引き、
④ お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。



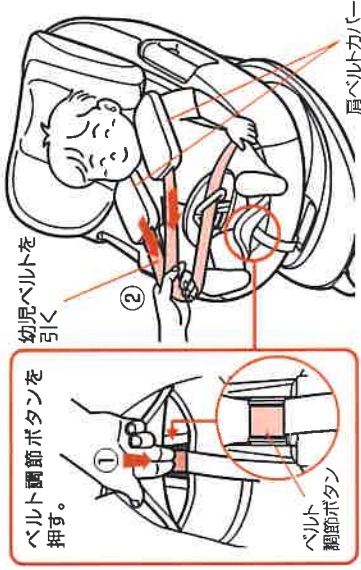
警告

必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが肩に差さ付き怪傷をおそれがあります。

- 6 シートを後向き、または前向きにまわす。

お子さまの降ろしかた

- 1 ① ベルト調節ボタン(奥側)を押しながら、
② 左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。
③ バックルボタンを押し、タングをはすす。
④ お子さまを降ろす。



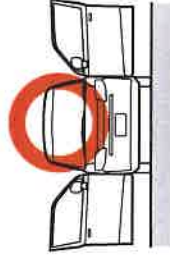
取り付け準備

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- 本製品は車両シートベルトで固定することはできません。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
- サポートレックを取納状態のまま、取り付けないでください。

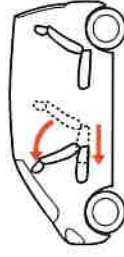


危険

- ① 取り付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平らな場所で行う。



- ② 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付け。



- ① 車両ヘッドレスト
- ② 車両ヘッドレスト

- ② 車両ヘッドレストを取りはさずせる場合は、取りはさず。 ※ 取りはさずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
- ③ 車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。

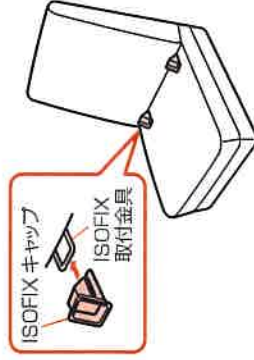
車への取り付け・取りはさず

下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。
www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html



31

3 ISOFIXキヤップをISOFIX取付金具に差し込む。

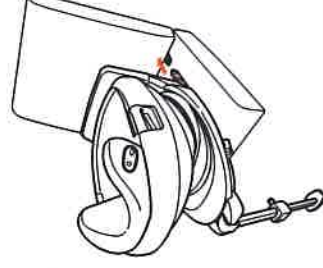


ISOFIX取付金具が車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIXキヤップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによっては取り付けるとベース背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



車への取り付け・取りはさず

- シートは取りはさずなくとも車に取り付けることができますが、シートを取りはさずすることで、車に取り付けしやすくなります。
- シートを取りはさずするに車に取り付ける場合、車への取り付けかたはベースのみ先に取り付ける場合と同じです。(車への取り付けかたは参照)
- シートは、後向きと前向きとの通りの使用方法があります。車への取り付けかたは同じです。

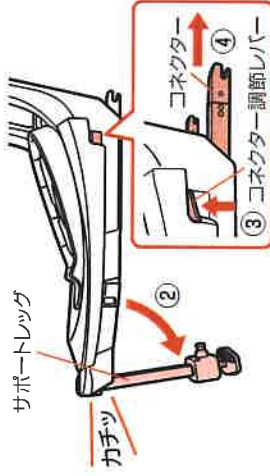


32

車への取り付けかた

本製品は、後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、取り付けかたは同じです。

- 1 シートを取りはずす。(「シートの取りはずし、取り付けのしかた」参照)
 - 2 サポートレッグを「カチッ」と音がするまで引き出す。
 - 3 ベース裏面のコネクター調整レバーを押し上げながら、
 - 4 コネクターを最大まで引き出す。
- ※ 左右それぞれ作業を行ってください。

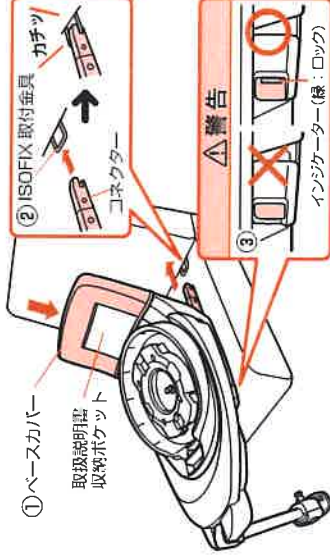


車への取り付け・取りはずし

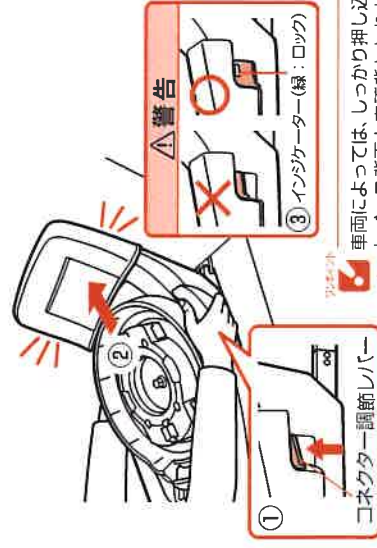
33

△警告 必ずベースカバーを使用してください。

- 2 ① ベースカバーを取扱説明書収納ポケットが内側になるように取り付ける。
- ② 左右のISOFIX取付金具に「カチッ」と音がするまで、コネクターを差し込む。
- ③ インジケーターがロック状態(「緑色」の表示が見える状態)になっていることを確認する。



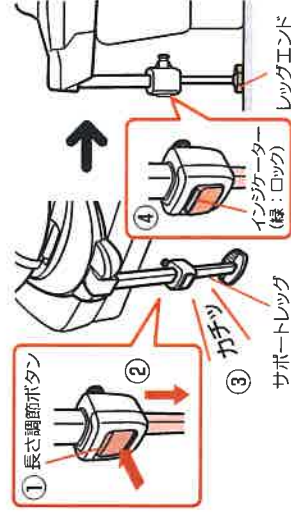
- 3 ① 左右のコネクター調整レバーを押し上げながら、サポートレッグが車両背面に接するまで強く押し込み、手をはなす。
- ③ インジケーターがロック状態(「緑色」の表示が見える状態)になっていることを確認する。「緑色」であって可能な限り押し込むことで、しっかりと固定できます。



車両によっては、しっかり押し込んで
もベース背面と車両背もたれとの間
にすき間が生じる場合があります。

つづく➡

- 4 ① サポートレッグの長さ調節ボタンを押しながら、サポートレッグが車両床面に触れるまで伸ばす。
- ③ 長さ調節ボタンを離し、「カチッ」と音がするまで、さらにサポートレッグをのばす。
- ④ インジケーターがロック状態(「緑色」の表示が見える状態)になっていることを確認する。

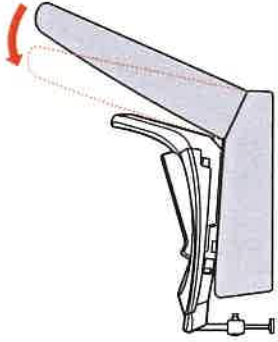


車への取り付け・取りはずし

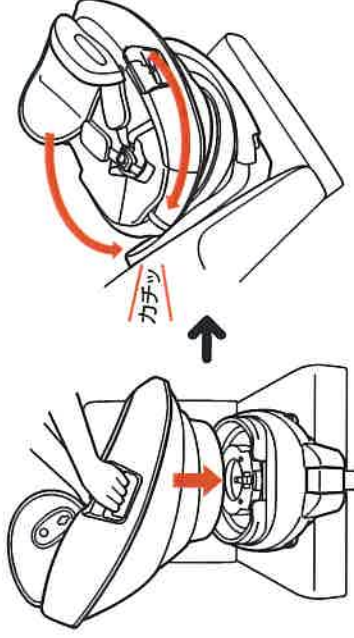
34

車への取り付けかた

5 車両背もたれがリクライニングできる場合は、ベース背面とのすき間ができるだけ小さくなるよう、角度を調節する。



6 シートを取り付ける。
(「シート」の取り付けは、取り付けのしかた」参照)



車への取り付け・取りはずし

35

取り付け完了チェックのしかた

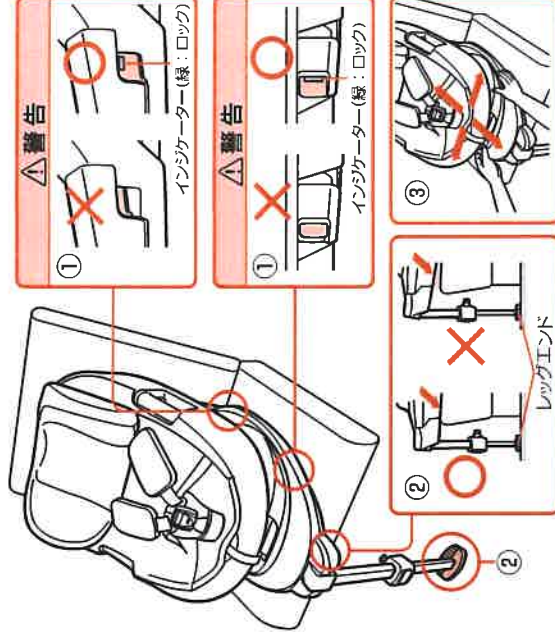
取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ① インジケーターがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていること。
 - ② サポートレッグがしっかりと車両床面に接地するように履さが調節されていること。（無理に突っ張る必要はありません）車両シートとベースにすき間が発生しないように調節する。
 - ③ ベースを持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていること。
- ご不明な点は当社コンシューマーサポートまでお問い合わせください。

確認

車両によってはシートのひしかけなどがインジケーターを隠し、目視での確認が困難な場合があります。

その際は、ISOFIX 取付金具へコネクタを差し込み時に左右のコネクタが「カチッ」と音が出るまで差し込まれたことを確認してください。その際にベースを持ち前方方向に引っ張り、ベースが動かしやすさによる斜め取り付けがなく、しっかりと取り付けられていることを確認した後に、②③の完了チェックを行ってください。



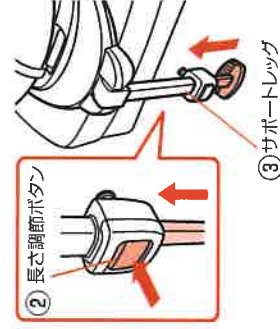
車への取り付け・取りはずし

36

車からの取りはずしかた

1

- ① シートを取りはずす。
(「シートの取りはずし、取り付けのしかた」参照)
- ② サポートレッグの長さ調節ボタンを押しながら、
- ③ サポートレッグを短くする。

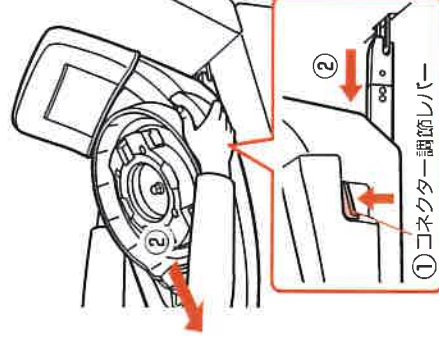


車への取り付け・取りはずし

37

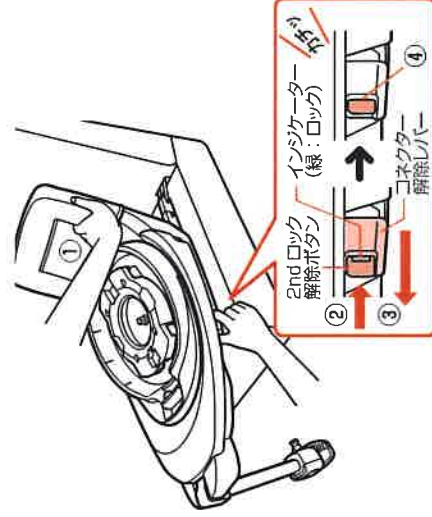
2

- ① 左右のコネクター調節レバーを押し上げながら、
- ② ベースを手前に引く。



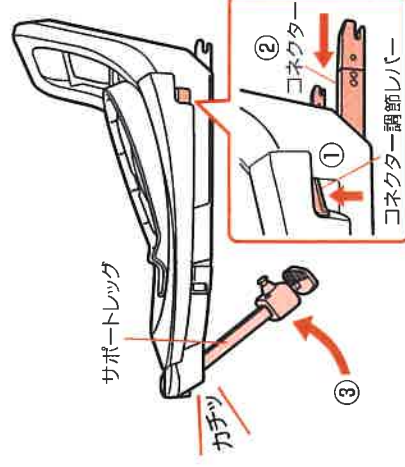
3

- ① ベースの背面を片手で抑えつける。
- ② 片側ずつ2ndロック解除ボタンをしっかりとつまみながら、
- ③ コネクター解除レバーをまっすぐ手前に引く。
- ④ インジケーターがロック解除(「緑色」の表示が見えない状態)になっていることを確認する。



4

- ① ベース側面のコネクター調節レバーを押し上げながら、
- ② コネクターを収納する。
- ③ サポートレッグを「カチッ」と音がするまでゆっくり折りたたむ。

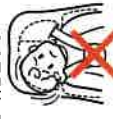
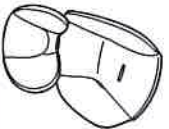


車への取り付け・取りはずし

38

インナークッションの使いかた

お子さまの身長によって使いかたが異なります。

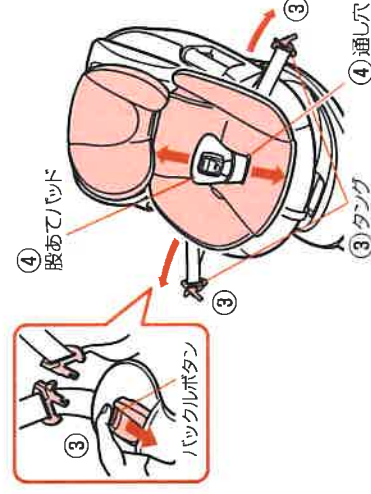
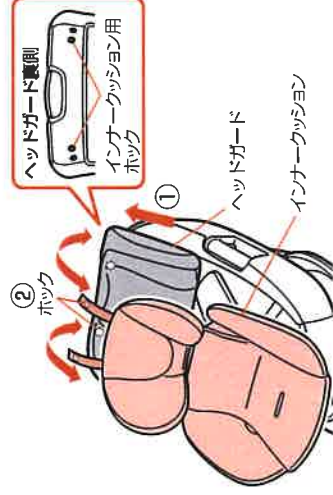
後向き(進行方向に対して後向きに取り付け)	
使用する	使用しない
身長 40cm ～ 65cm 未満	身長 65cm 未満
身長 40cm ～ 65cm 未満	身長 76cm 以上
必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。  警告	お子さまの体格や成長にあわせ、ベルトが窮屈に感じたときは、使用をやめる  ※インナークッションは製品仕様により、形状が異なります。
危険 インナークッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たせず危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。	注意 はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。車内に残りがり、運転のさまたげになる可能性があります。

お手入れ・その他

39

インナークッションの取りはずしと取り付け

- ① ヘッドガードを引き上げる。
(「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照)
- ② ヘッドガード裏側にある2カ所のホックから取りはずし、または取り付けをする。
- ③ バックルボタンを押し、タングをはずす。
- ④ バックル・股あてパッドを通し穴に通し、取りはずし、または取り付けをする。

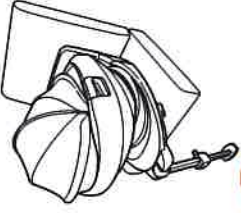
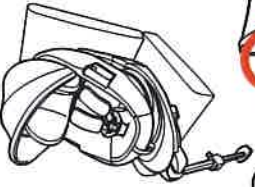


お手入れ・その他

40

幌の使いかた

シートの方きによって使いかたが異なります。

後向き	前向き
 すべて開いた状態で使用可能 ※取りはずした状態でも使用できます。	 ※ホックをとめる
 すべて開いた状態では使用しないこと	 小さくたたみ、「日よけ」として使用可能 ※取りはずした状態でも使用できます。

警告

- 幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触するおそれがあり危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。
- 「前向き」使用時は幌は小さくたたんで使用するか、取りはずしてください。

注意

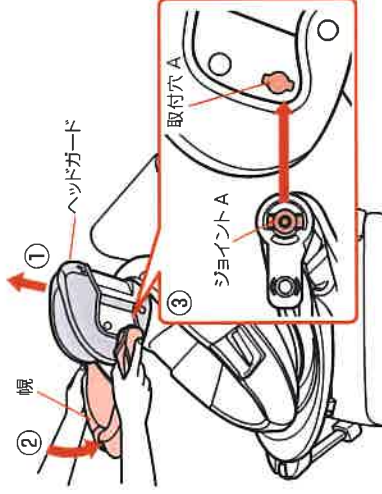
- チャイルドシートを持ち運ぶときは、幌を持たないでください。製品が破損する原因となります。
- 幌に、おもちゃやサンシェードなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。

※ 幌は製品仕様により、形状が異なります。

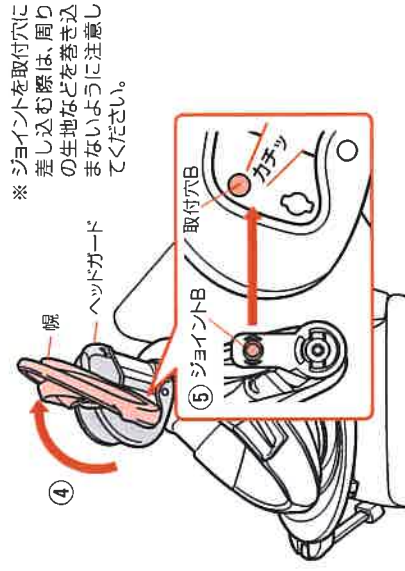
つづく

幌の取り付けかた

- ① ヘッドガードを引き上げる。(「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照)
- ② 幌を小さくたたむ。
- ③ 左右のジョイントAをヘッドガード側面の取付穴Aに形を合わせて、差し込む。



- ④ ジョイントAを中心に後ろにまわしながら、
- ⑤ 左右のジョイントBをヘッドガード側面の取付穴Bに「カチッ」と音がするまで差し込む。

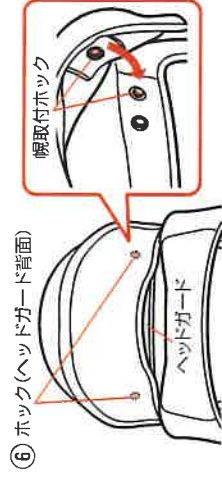


※ ジョイントを取付穴に差し込む際は、周りの生地などを巻き込まないように注意してください。

幌の使いかた

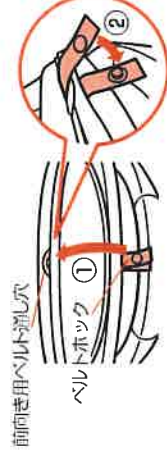
幌の取り付けかた

- ⑤ 幌背面のフック（2カ所）をヘッドガードカバーの幌取付フックに取り付ける。



前向きで使用するとき

- ① 幌背面にあるベルトフックを幌上部にある前向き用ベルト通し穴に通し、
② フックでとめる。



お手入れ・その他

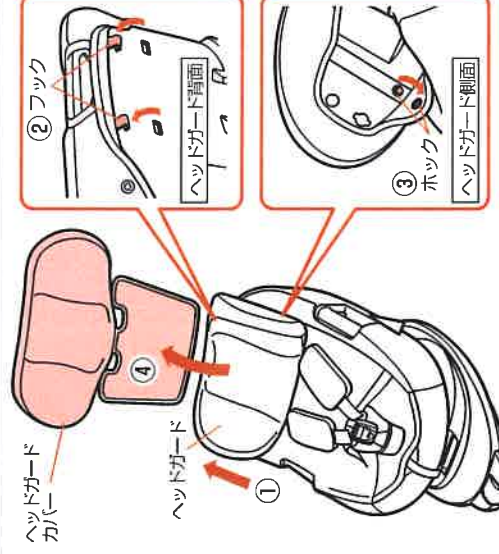
警告
幌背面左右のフック（2カ所）が、ヘッドガードカバーに取り付けられていることを確認してください。

カバーの取りはずしかた・取り付けかた

ヘッドガードカバーの取りはずしと取り付け

つづく →

- ① ヘッドガードを引き上げる。
（「幼児肩ベルト位置の調節のしかた」参照）
 - ② ヘッドガードカバー上部裏のフック（2カ所）を取りはずし、または取り付けをする。
 - ③ ヘッドガードカバー左右裏のフック（2カ所）を取りはずし、または取り付けをする。
 - ④ ヘッドガードカバーを取りはずし、または取り付けをする。
- ※ ヘッドガードに取り付けているクッション材を割らないようにご注意ください。

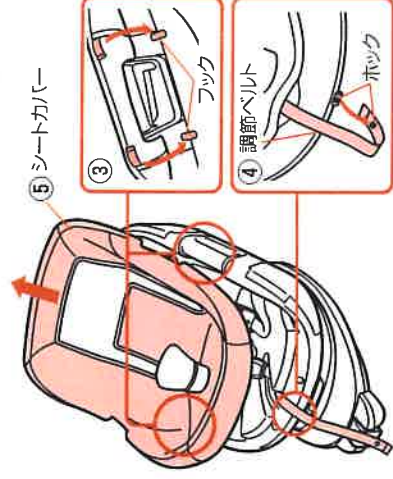
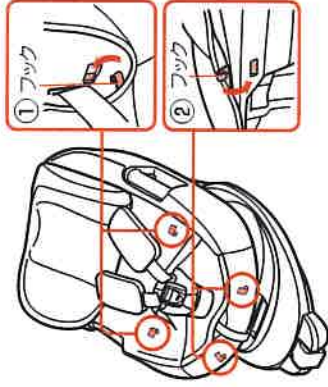


お手入れ・その他

カバーの取りはずしかた・取り付けかた

シートカバーの取りはずしと取り付け

- ① 座面の奥側のフック（左右各1カ所ずつ）を取りはずし、または取り付けをする。
- ② シートカバー前側のフック（2カ所）を取りはずし、または取り付けをする。
- ③ シートカバー側面のフック（左右各2カ所ずつ）を取りはずし、または取り付けをする。
- ④ 調節ベルト先端のホックをシートカバー裏側から取りはずし、または取り付けをする。
- ⑤ シートカバーを取りはずし、または取り付けをする。

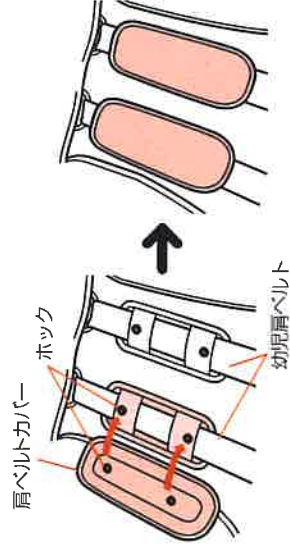


お手入れ・その他

45

肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け

ホック（2カ所）の取りはずし、または取り付けをする。



※ 肩ベルトカバーは製品仕様により、形状が異なります。

お手入れ・その他

46

お手入れのしかた

シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

- シートカバーに縫製されている洗濯ラベルに従い洗濯してください。
- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 水、またはぬるま湯で洗濯機は手洗いしてください。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 横型洗濯機（洗濯槽が横、または斜めを向いている）をご使用の場合は、水量が少なくなりすぎないように注意してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の濃いものと区別されることをおすすめします。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- アイロン掛けはしないでください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- インナークッションを洗濯するときは、頭部と座面に入っているクッションを取りはずしてください。

お手入れ・その他

幌のお手入れのしかた

- 幌は液につけず、洗剤を入れた水、またはぬるま湯をつけたスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水分を含ませた布やスポンジで洗剤が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。

本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水がきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落とすしてから水がきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。



警告
中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあります。